

人気HF機がさらに進化。



HF+50MHz (SSB/CW/RTTY/AM/FM)
 100Wトランシーバー
IC-7300MK2 2 アマ免許
 (50W タイプ)
IC-7300MK2M 3 アマ免許
 (10W タイプ)
IC-7300MK2S 4 アマ免許

アイコム初のCWデコーダーを搭載。
 CW初心者の運用をサポート*1。

LANポートを搭載することで、
 サーバパソコンなしでのリモート運用を実現。

受信アンテナなどの接続が可能な、
 RX IN/OUT端子(SMA型)を装備。

発熱を低減することで、安定した
 長時間運用が可能。省エネも実現。

国内初**、HDMI®の外部ディスプレイ出力端子を
 搭載し、大画面での情報表示を実現。

USB Type-C™端子を採用。
 1つの端子で、2つのシリアルポートに対応。

従来機からRMDR/フェーズノイズ特性が向上。

*1 受信状況等により正確にデコードできない場合があります。
 **2 主要アマチュア無線メーカーとして。(2025年8月自社調査)

この無線機を使用するには、総務省のアマチュア無線局の免許が必要です。
 また、アマチュア無線以外の通信には使用できません。

進化したベストセラーモデルから、さらに心躍るHF運用が始まる。

国内初*、HDMI*端子による 外部ディスプレイ出力に対応。

IC-7300MK2は、国内のアマチュア無線機で初めて*、外部ディスプレイ出力端子にHDMI*を採用しました。これにより、周波数やCW/RTTYのデコード結果、各種設定を大画面で把握することが可能です。

* 主要アマチュア無線メーカーとして(2025年8月自社調査)。

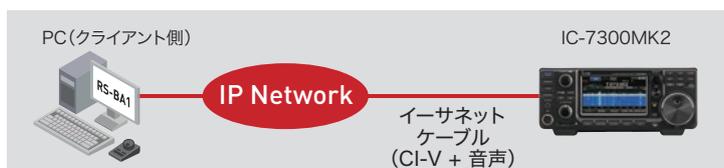
LANポートを搭載、 シンプルなシステムでリモート運用が可能。

IC-7300MK2は、LANポートを装備しています。コントロールソフトウェアRS-BA1(オプション)をインストールしたパソコンからリモート運用を行う際に、LANケーブルでIC-7300MK2を直接ネットワークに接続することが可能です。無線機側にサーバーパソコンを準備する必要がありません。もちろん、CI-Vによる電源コントロール、LAN経由でのネットワーク時刻補正にも対応しています。また、リモートエンコーダーRC-28(オプション)をパソコンに接続すれば、ダイヤル操作でスムーズな操作も実現します。

アイコム初となる、CWデコーダーを搭載。

多彩な機能を備えたCWデコーダーを搭載。音だけでなく、目で確認することができますので、CW初心者でも安心して運用することができます*。また、デコードキースピードの設定(AUTO、LOCK、KEY SPEED連動)、デコードフィルタの設定(AUTO、FIX、OFF)、スレッシュの設定(AUTO、MANUAL)など、状況やニーズに合わせた設定が可能です。

* 受信状況等により正確にデコードできない場合があります。



受信用アンテナなどの接続が 可能なRX IN/OUT端子を装備。

IC-7300MK2はRX IN/OUT端子(SMA型)を装備しています。これにより、アンテナ特性を生かした高度な受信が可能になります。また、外付けのバンドパスフィルターやプリアンプなども接続することができます。

USB Type-C™端子を採用。 1つの端子で、2つのシリアルポートに対応。

汎用性の高いUSB Type-C™端子を採用。パソコン上で2つのシリアルポートを認識することが可能になりました。これにより、FT8/RTTY、ロギングソフトなどのソフトウェアを、2つ同時に使用することができます。

従来機からRMDR/フェーズノイズ特性が向上。

IC-7300MK2は、従来機のIC-7300からRMDR/送信波のフェーズノイズ特性が向上しています。IC-7300比で、RMDRは約5dB*、送信波のフェーズノイズは約12dB*の改善を実現しています。また、この優れたフェーズノイズ特性は送信のみならず、受信のクオリティー向上にもつながっています。

■フェーズノイズ特性の比較(送信電波)



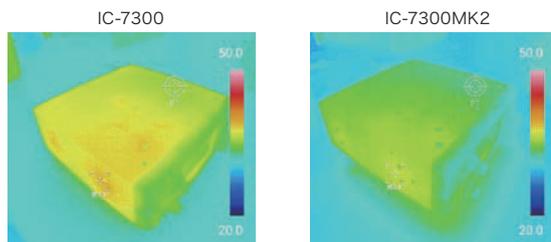
* 2kHz離調(周波数: 14.2MHz、MODE: CW、IF BW: 500Hz)

RMDRとは: RMDR(Reciprocal Mixing Dynamic Range)とは「受信回路のLOに付随するフェーズノイズにより近接する強入力信号からのブロックの影響で、受信感度がどの程度悪化するか」の指標。数字が大きい程ブロックの影響が少ないことを示します。一般的にLOのフェーズノイズが小さいほど、この特性が優れています。

発熱を低減することで、安定した 長時間運用が可能。省エネも実現。

デバイスの見直しや電源部の最適化により発熱を低減。長時間にわたるコンテストなどでも安定した運用が可能になりました。また、IC-7300MK2は省エネも実現。IC-7300と比較して、待受時0.9A→0.7Aと消費電流を軽減しています。

■サーモグラフィによる発熱の比較*



* 受信待ち受け時、室温24°C、6時間放置した場合。